

羽生市議会議員 ゼロからの挑戦！ ～第2章～

中島なおき 無所属 39歳



BLOG 「ゼロからの挑戦日記。」ほとんど毎日更新中！

中島なおき

検索 

埼玉医療生活協同組合(羽生総合病院)と締結している土地使用貸借契約書の契約期間を5年間延長しました。

● これまでの経緯

昭和57年11月6日、羽生市と埼玉医療生活協同組合(羽生総合病院)との間で、30年間の無償による土地使用貸借契約を締結し、羽生市の所有地を組合に貸しています。

組合は、その土地に病院を建設し、昭和58年9月1日、埼玉医療生活協同組合羽生総合病院として診療を開始し、今日までの30年近く、救急医療を始め、地域医療を担っています。

このような中、平成18年12月21日、組合は、病院の建て替えを行いたいとし、羽生市へ協力を求める要望書が提出されました。

これを受けて、新病院建設場所の選定を中心に組合と協議を行っていますが、今のところ新病院建設場所の決定には至っていません。

● 組合が土地使用貸借契約の延長を要望

そして、現在、羽生市と組合が締結している土地使用貸借契約が本年11月に期間満了となることから、平成24年3月15日、組合から「土地使用貸借契約延長のお願い」が提出されました。

これを受け、羽生市は、平成24年4月27日、契約内容を検討するため、新病院の構想とスケジュールを示してもらいたいと組合へ依頼しました。

これに対し、平成24年5月30日、組合から「5年間の無償契約」による変更契約を希望する回答がありました。

そのため、市では、変更契約の内容を検討し、組合側と協議を行ってきました。

● 契約内容

その結果、組合側との協議が整い、次のような内容で変更契約を行うことになりました。

1. 引き続き土地使用貸借(土地の無償貸付)とする。
2. 契約期間を5年間延長する。
3. 新病院の建設に関する新たな項目を追加する。
 - ①組合は、現行法令に基づき、速やかに市内において、新病院建設可能な移転候補地を決めること。
 - ②組合が行う新病院の建設は、契約延長期間である5年以内の完成を目指すこと。
 - ③組合は、新病院建設計画の進捗状況を年1回報告すること。
 - ④市は、組合が行う新病院建設において、可能な限りの支援を行うこと。

● 契約締結

そして、平成24年10月23日、羽生市と埼玉医療生活協同組合において、「土地使用貸借契約書の一部変更契約書」を締結しました。

これにより、羽生総合病院は、引き続き現在地において診療を継続し、

5年以内に市内での新病院建設を目指すことになりました。

【中島なおき(直樹)の生きざま】

- 昭和47年11月生まれ 身長184センチ 体重75キロくらい 血液型 A型 さそり座
- 埼玉栄高校普通科、日本福祉教育専門学校社会教育学科卒業 日本大学法学部政治経済学科卒業
- 神奈川県内の児童福祉施設勤務を経て、鴻巣市社会福祉協議会職員となる
- 平成18年(33歳)埼玉県内若手地方議会議員有志主宰の「若手政治家養成塾」へ入塾
- 平成19年(34歳)正真正銘「地盤 看板 カバンなし」から羽生市議会議員一般選挙に単身挑み初当選
- 平成23年(38歳)羽生市議会議員一般選挙に2度目の立候補 現職無所属候補のほとんどが前回よりも票を落とす中、唯一得票を大きく伸ばし再選を果たす
- 所属:第2期若手政治家養成塾副代表 NPO法人地方議会制度研究センター副代表理事兼研究員 青年地方議員の会
- 趣味:釣り 読書 家庭菜園 写真 ■特技:ギター弾き語り バasketボール ハンドボール
- 家族:保育士の妻 長女10歳 次女8歳

N0,35(第一版)の一般質問【図書館における乳幼児の対応について】の中で文字の変換ミスがありました。「週間を身に着ける」ではなく「習慣を身に付ける」の間違いです。失礼しました。

